

種子屋久通信

発行：熊毛地域青少年育成推進協議会
住所：西之表市西之表 7590 番地
（熊毛支庁総務企画課内）
TEL：0997-22-0498
FAX：0997-23-1161

令和元年度 「鹿児島県青少年育成県民会議」総会

6月6日（木）、令和元年度鹿児島県青少年育成県民会議総会が県青少年会館で開催されました。原之園副会長の挨拶の後、青少年育成県民会議表彰が行われ、個人の部6名、団体の部6団体の方々が受賞されました。熊毛地区からは青少年団体・グループの部で、ジュニア・リーダークラブベにんこ（中種子町）が表彰されました。

議事では、平成30年度の事業報告をはじめ令和元年の事業計画、新役員体制など計5議案が審議され、事務局の提案どおり承認されました。



受賞者全員で記念撮影



講演の様子

最後に、重永侑紀氏（NPO法人にじいろCAP代表理事）による「児童虐待防止—地域だからできること—」と題して講演がありました。子どもにSOSの出し方を教える予防教育が大切であること、また、愛着の絆が脳の発達にとっても重要であることなどを話されました。

受賞おめでとうございます

【青少年団体・グループの部】

☆ジュニア・リーダークラブベにんこ（中種子町）

平成22年に、当時の種子島中央高校生が、ジュニア・リーダーの養成研修に参加したことをきっかけに結成し、9年目を迎えます。

地域行事や子ども会活動にも積極的に参加し、子ども会の「お兄さん、お姉さん」としてアドバイスをし、地域活動を盛り上げています。特に町主催の夏祭り・成人式・農林漁業祭や町の連合青年団主催の「ちびっこふえあ」等のスタッフ補助として活動しており、青年団との活動では、団員数が減少する中、“ベにんこ”の参加により活動に盛り上がりを見せています。

その他、地域の美化活動や募金活動（東日本大震災、口永良部島噴火災害、熊本地震、北海道胆振東部地震）に取り組んできています。

鹿児島県青少年育成県民会議表彰



ベにんこ受賞の様子

令和元年度「熊毛地域青少年育成推進協議会」総会



会長あいさつ

また、本年度は役員改選の年にあたり、当協議会会長に鎌田富士雄氏（熊毛地区民生委員児童委員協議会会長）、副会長に小園裕康氏（南種子町長）、荒木耕治氏（屋久島町長）、谷口浩一氏（熊毛支庁長）が選任されました。

続いて「各市町の青少年に係る平成 30 年度活動報告及び令和元年度活動方針」について説明があり、次に「地域の少年非行の現状と環境浄化対策について」と題して、種子島警察署生活安全刑事課と屋久島警察署生活安全刑事課から地域における青少年の非行の実態報告が行われ、登下校時や子どもが外で遊んでいる時など、不審者に対する防犯対策として地域全体で『ながら見守り』をして欲しいとお願いがありました。

その後、各種団体の青少年に係る日頃の取組等についての説明と意見交換を行いました。

7月3日（水）、令和元年度熊毛地域青少年育成推進協議会総会が熊毛支庁において開催され、関係機関・団体等の代表者や青少年育成コーディネーター等 24 名が出席しました。

議事では、平成 30 年度活動報告及び令和元年度活動方針について、事務局より説明・提案を行い、原案のとおり承認されました。活動報告では「家庭の日」作品コンクールの結果や明るい家庭づくり実践講座の実施状況、広報誌発行状況、青少年保護育成条例に基づく立入調査の実施状況等の説明を行いました。

令和元年度「家庭の日」絵画・ポスター・標語募集



子どもが心身ともに健全に成長するためには、明るく円満な家庭が何よりも必要です。心豊かな青少年を育てるために明るく円満な家庭づくりが実践されることを願い、毎月第3日曜日に設定された「家庭の日」の普及・啓発活動の一環として、絵画・ポスター・標語を県内の小・中学生から募集します。



平成30年度 優秀賞
中種子町立納官小学校
1年生 肥後寿明さん

【 応募内容 】

【絵画の部】

- ・一家団らんの様子
- ・家事を手伝っている様子
- ・地域ぐるみで、明るい家庭づくりを実践している様子

【ポスターの部】

- ※例えば次のような言葉を入れる
- ・「家庭の日」
 - ・「我が家の家庭の日」
 - ・「楽しいうちの家庭」

【標語の部】

- ・明るく、楽しい様子を表現したもの
- ・親子の協力やふれあいを表現したもの

【 応募資格 】

県内の小・中学校、義務教育学校（小・中学校に準じる学年）及び特別支援学校小学部の児童、特別支援学校中学部の生徒

【 応募作品提出先・提出期限 】

市町村立小・中学校・義務教育学校
→ 市町村教育委員会へ 9月6日（金）まで

かごしま地域塾推進事業〈概要〉

鹿児島県の教育的風土や伝統を生かして、子どもたちが思いやりや自律心などを学ぶ「かごしま地域塾」の活動の充実を図るとともに、「かごしま子どもリーダー塾」の実施により、郷土（ふるさと）に根ざした国際的な人材を育成します。



- 1 かごしま子どもリーダー塾
〈塾生：高校1年生30名，集合研修：8月2日～8月5日
実践活動：9月～11月，卒塾研修：令和2年1月〉
- 2 かごしま地域塾グレードアップセミナー
〈参加者：地域塾の指導者等40名程度，開催日：令和2年2月上旬〉
- 3 地域塾への活動支援助成〈令和元年度18団体助成〉

熊毛地区4団体助成
古田子ども会，安城カシミアクラブ，南種子ジュニア・リーダークラブ「コスモス」，山ん学校21

- 4 放課後子ども教室運営費助成〈11市町村教室予定〉
- 5 優れた地域塾認定
〈優れた活動を行っている地域塾を県が表彰する〉

熊毛管内：地域塾12団体登録，優れた地域塾認定3団体

育成活動等の紹介

【西之表市】

☆「漂流びん流し」安城小PTA・
地域塾：安城カシミアクラブ

5月12日（日）に日曜参観で漂流びん流しが行われ，全校児童11名と保護者，安城カシミアクラブのメンバーが参加しました。黒潮の流れを知るために1973年から続く伝統の行事です。空のビールびんに砂の重しを入れ，この活動の趣意書（日本語と英語で書かれたもの），返信用ハガキ，自作のメッセージカードをびんに入れ，誰かが拾ってくれることを願って作り上げました。



漂流びん完成★出来たぞ～！



親子仲良くメッセージカード作成中

その後，安城漁港に移動し出発式を行い，子ども達は阿蘇谷校長と保護者に完成した33本の漂流びんを託し，漁船を見送りました。

午後からは，親子ボランティア活動として海岸清掃を行いました。

☆「防犯・交通安全講習会」「防犯・交通安全グッズ(安全お守り人形)作成会」
ジュニアリーダー種子島レオクラブ・中種子ジュニアリーダークラブベにんこ



7月26日(金), 種子島地区防犯協会による青少年の育成活動として, 種子島の将来を担う青少年を対象とした「防犯・交通安全講習会」と「防犯・交通安全グッズ(安全お守り人形)作成会」が種子島地区交通安全協会で開催されました。種子島警察署, 各自治体, 種子島地区防犯協会, 種子島交通安全協会, 地域安全モニター, 少年ボランティアの他に, 今回は1市2町のジュニアリーダークラブのメンバーに参加声かけがなされ, ジュニアリーダー種子島レオクラブ(9名)と中種子ジュニアリーダークラブベにんこ(7名)を含む約30名が参加しました。

参加者全員で種子島警察署(生活安全課・交通課)による講話を聞いた後, 年末年始の地域安全運動キャンペーン時に各地区で手渡し配布をしている「防犯・交通安全グッズ(安全お守り人形)」を作りました。



お守り人形綿づめ開始・真剣



皆, いい笑顔・ハイポーズ



会話も盛り上がってます♪♪

【中種子町】



☆「シーカヤック体験」地域塾:中種子チャレンジ・キッズ

7月15日(月), 中種子チャレンジキッズの第2回の活動として「シーカヤック体験」が行われました。今年には天候に恵まれて, 実際に海上での活動を行うことができました。ライフジャケットを身につけ, 始めにカヤックの乗船講習を受けた後, さっそく海に出て沖へと向かいました。慣れている子も多く, すいすいと沖の孤島まで行くことができました。上陸した孤島は, 海岸からは見えないところにあり, 冒険心がかき立てられるポイントでした。孤島には小さなビーチがあり, そこで思う存分遊んだ後, またカヤックに乗り, 海岸へと向かいました。行く時にはぎこちなかった子どもも, 帰りはパドルを漕ぐのも上達しており, 飲み込みの早さに驚かされました。今回の活動を通して, 海上での行動や危険な箇所の把握など, 普段生活する上では覚えることのないことを学ぶことができたと思います。



乗船講習の様子



沖の孤島に向けスタート



楽しい!! 孤島に上陸

☆「魚とり・魚さばき体験」油久っ子体験塾

6月16日(日)、午後より油久っ子体験塾として「魚とり・魚さばき体験」が開催されました。今回は油久小学校の子どもだけでなく、納官小学校・岩岡小学校の留学生も参加しました。魚さばき体験のグループ、魚とりの仕掛けを作るグループ、川で生き物探しのグループに分かれての行動となりました。

魚さばき体験では、油久のおじいちゃん・おばあちゃんが講師となって、漁協にもらった魚を実際にさばきました。最初は包丁の扱いと滑る魚の表面に戸惑いながらも、保護者と一緒になって上手にさばいていました。

魚とりのグループでは、ペットボトルを使って簡易な仕掛けを作り、実際に河口に仕掛けました。時間をおいて仕掛けをあげると、小魚が入っている仕掛けがあり、子ども達は大興奮でした。

川の生き物探しのグループでは、グループ対抗で何種類の生き物が捕まえられるかという競争をして、多いところでは10種類近くの川の生き物を捕まえたグループもありました。それぞれ思い思いの方法で、魚やカニを捕まえていました。



魚さばき体験・滑るからしっかり押さえてね。



仕掛けた網に小魚が！興奮



どんな生き物がいるかな？

それぞれの行程を一通り終えた後は、全員でBBQをして楽しみました。子ども達、保護者ともに他校との交流のよい機会となったと思います。

夏 の「郷土に学び・育む青少年運動」

7月1日(日)～8月31日(金)

毎月第3土曜日は
青少年育成の日

地域活動、美化活動、ボランティア活動に参加しましょう



毎月第3日曜日は
家庭の日

家庭や地域でのルールについて話し合しましょう



毎月19日は
育児の日

家事などみんなでお助けあってすごしましょう



地域ぐるみで青少年を育てましょう



青少年保護育成条例が改正されました（2019年7月1日施行）

- ☆フィルタリング利用促進のための規定が整備されました。
 - フィルタリングを利用し青少年を有害情報から守りましょう —
- ☆児童ポルノ自撮り被害防止のための規定が新設されました。
 - 青少年に対して自撮り等の提供を不当に求めると犯罪になります —

ネット依存の低年齢化（危険）

あなたにも覚えがありませんか？
ついやってしまう4つのこと



ネット依存

日常生活に干渉を及ぼす程度の、インターネットや携帯電話への過剰に依存した状態を指す。
インターネットやメールに熱中するあまり、それを離れると孤独感や絶望感にさいなまれ、睡眠障害や生活リズムの崩れなどの症状に陥る状態。

スマホごしに 育児していませんか？

日頃の言葉や表情のキャッチボールがお子さんの愛着や信頼感を育てています。お子さんと一緒に時間は、保護者自身もスマホに熱中し過ぎないことが大切です。

スマホやゲーム機 お子さん ひとりで遊ばせてませんか？

子どもは保護者との会話を通して、スマホやゲームから得た知識を吸収します。正しい知識の定着には、親子一緒に体験し、内容について話し合うことが大切です。



寝る前にスマホを 渡していませんか？

就寝前のスマホ利用はブルーライト等の刺激が眠りを妨げると言われています。乳幼児は夜7時から朝7時の時間帯を目安とした十分な睡眠と、生活リズムを崩さないことへの配慮が必要です。

お子さんの遊び道具がスマホや ゲーム機に偏っていませんか？

見る、聞く、匂い、味、手触りなど、乳幼児期は知覚や認知発達において大切な時期です。様々な道具を使ったり、身体を動かさず遊びをバランス良く用意しましょう。



★★★ お子さんの「ネットとのよい出会い」「利用習慣の基礎」をつくることは、保護者の責任です。★★★

種子島で安心ネットサポーター養成講座開催予定
1回目:12月15日(日) 2回目:2月15日(土)

未就学児の保護者の方もこの
機会に是非ご参加ください

入場無料

県内にお住まいの小・中・高校生（18歳以下）

の入場料が無料（土・日・祝日）です。

※入場時に年齢や住所を確認できる書類をご提示ください。（生徒手帳や住民票簿など）



歴史資料センター-黎明館(常設展)



宍養パーク



フラフラパークかこしき



原久島環境文化村センター



上野原縄文の森



原立博物館フタバリウム



原立アートの森(常設展)



Copyright © 2019